

地域密着型サービス施設光輪 令和6年度 第2回(7月)運営推進会議報告書

施設長	相談課長	相談課長	特養 相談係長	特養 相談主任	包括 相談係長	多機能 介護支援 専門主任	特養 生活相談員	特養 生活相談員	多機能 介護リター
						○			

日 時	令和6年7月17日(水)14:00~15:20	
場 所	帯広至心寮 多目的スペースわらく他	
記 録 者	小規模多機能光輪 介護支援専門主任 吉田 元 印	
出 席 者	<p><b>【委員】</b>                  匂坂哲郎委員長、佐藤悦朗委員地域包括支援センターけいせい苑 西田文美子委員、                  地域包括支援センター帯広至心寮 鳥瀬一成委員、多機能利用者</p> <p><b>【事務局員】</b>                  石川忍事務局長、吉成雅弘事務局員、中尾雅幸事務局員、西田晃恵事務局員                  金井幸子事務局員、堀江綾子事務局員、樋口俊明事務局員</p> <p><b>【その他】</b>                  帯広消防署南出張所署員4名</p>	
欠 席 者 (理 由)	島田美江委員、杉林利佳委員、特養光輪利用者、高浪三代子事務局員	
	協 議 内 容	決 定 内 容
●開会		
1. 施設長挨拶	・匂坂委員長より開会挨拶がなされた。	
2. 協議事項	1. 光輪運営推進会議構成委員について(書面にて報告) 2. 地域と施設の関わりについて (1) 特養光輪について(書面にて報告) (2) 小規模多機能光輪について(書面にて報告)	
3. 地域福祉向上のための要望と助言	(1) 利用料金(食費)の改訂について(書面にて報告)  (2) 令和6年度第1回帯広至心寮・光輪合同避難訓練について ・吉田事務局員から本日の避難訓練の内容について、別紙要綱を元に説明がある。その後順次、①地域密着施設光輪、②至心寮、③消火訓練に参加して頂いた。  (3) 委員の皆様から ○匂坂委員長 ・毎回、避難完了時間が10分以内との事で、今回も概ね10分以内に避難が完了していたので良かったと思う。	

## 地域密着型サービス施設光輪 令和6年度 第2回(7月)運営推進会議報告書

- ・光輪の避難訓練時、出火場所のアナウンスが無かった。

### ○佐藤委員

- ・避難場所が外などの一か所でなく、各ユニットの避難口なので、避難状況や人数の把握が難しい事が分かった。

### ○西田委員

- ・今回も訓練に参加させて頂き、消火訓練も出来て良かった。年に1回でもこのような機会が必要と感じました。

### ○鳥瀬委員

- ・火災報知器等の音で不穏になる利用者様がいたので、対応が難しいと感じた。

### ○帯広消防署員

- ・火災発生場所を変えるなど、毎回の工夫が大事。
- ・今回は非常口付近での待機であったが、実際に外に避難をする事も想定。
- ・現在増えているのが停電後の通電火災。出火する場所が特定できず、どこで発生するか分からないので、停電時(復旧時)は特に注意して欲しい。
- ・北海道の場合は厳冬期の避難について想定しておくことが大切。
- ・避難の際はエレベーターは使用しない。
- ・火災発生時はパニックになり、訓練した内容や消火器の使い方も分からなくなってしまう。避難誘導は1分1秒を争う事なので、日頃から優先順位や消火器、消火栓の位置を朝のミーティングで確認する事も大切な訓練の一環であるので、今後も取り組みをお願いします。

### ○次回開催日

- ・令和6年9月18日(水)14:00開催予定

以上